

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	しろくまナーシング			
○保護者評価実施期間	2025 年 8 月 4 日 ～ 2025 年 8 月 22 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025 年 8 月 4 日 ～ 2025 年 8 月 22 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 8 月 20 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・LINEの活用、連絡票で保護者の方と連絡を密にとっている。	・写真をLINEで送信している。 ・連絡表に通所中の様子を書き伝える。	・おたよりの発行。
2	・入浴支援。	・安全に配慮し、看護師が必ずつき、3名体制で実施。 ・入浴剤の使用。	・季節感、音楽、照明の工夫を取り入れる。
3	・一人ひとりのベッドがあり、スペースが確保されている。	・空調の影響を考慮し、体温管理が必要な際は注意している。 ・カーテンでプライバシー保護。 ・できるだけ広いスペース確保。	・ベッドやマット（たたみ）の使用で他の子との交流を図る。活動の場を広げられるようにする。 ・クッションの使用。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外部との関わり。 ・父母の会、地域との交流、きょうだいへの支援の実施ができていない。	・交流する時間の確保、スタッフの確保が難しい。 ・保護者のニーズ調査ができていない。 ・生活介護、放課後等デイサービスが一緒であり、難しい。	・イベント等のアナウンス。 ・参加できる方には来所してもらう。 ・おたよりの活用。
2	・非常時の対応について「わからない」といった回答が多かった。	・実際の避難訓練の様子やお知らせをできていない。 ・契約時の説明のみになってしまっている。	・ひきとり訓練。 ・実際に訓練に参加してもらう（連絡や災害ダイヤルの使用練習）
3	・送迎者が小さく、安全面の不安がある。	・車が小さい。	・車のサイズは検討が必要。